

No. 736

17年ぶりに大雪

—東京—

2月15日早朝から16日未明にかけて、関東以西の各地に降り出した雪は、東京で17年ぶりの大雪となりました。

都心で23センチと戦後三番目の記録。このため16日朝のラッシュ時は国鉄、私鉄ともダイヤが大混乱し100万人以上の通勤客の足が奪われました。

どちらに軍配？

もし石油ストーブがたおれたらどうやって火を消すのが最適か、東京消防庁とある雑誌社をめぐっての論争に結着をつける公開実験が2月21日に自治省主催で実施されました。

60回の消火テストによってバケツの水をという実験派雑誌、従来から、まず毛布を次に水という消火指導を行ってきた経験派東京消防庁、この勝敗はいかに、と大きな注目を集めました。

しかし、いろいろな条件によって、文字通りの水かけ論争の火はなかなか消えそうもありません。

カメラスケッチ

にぎわう「みちのく」

—山形—

春の気配も、まだ遠い「みちのく」

雪に鎖された、ここ山形県は今、スキーヤーでにぎわっている。

新雪に美しく映え輝く蔵王名物樹氷原。その間を颯爽と滑るスキーヤー、白銀の世界でスキーの醍醐味を満喫している。

また、この地方に古くから伝わる稲富流砲術の実演、豊作を祝ってつく・もちつきなどが行なわれ、「冬のみちのく」は、夜おそくまでにぎわいを見せていた。